

瀬谷支援学校 支援室（教育支援チーム）スタッフの紹介

困った時の応援団です。まずは支援室へ。一緒に考えましょう！

OT（作業療法士）

OTは身の回りのこと（食事・着替え・トイレ）、手先のこと、姿勢や運動のこと、行動面のことなどに対応しています。集団に入ることが苦手、不登校傾向にあるといった子どもたちの中に感覚面の問題が隠れていることがあります。支援方法や支援グッズを紹介など有効な支援を一緒に考えますのでご相談ください。

ST（言語聴覚士）

STは言葉の発達や話し方、聞こえ、コミュニケーション、読み書き、摂食などについての支援を考えていきます。周りの人が接し方を変えることでハンディキャップが軽減されることもあります。どうしていくとよいかを、皆で考えていきましょう。

教育相談コーディネーター

今年度より教育支援担当となりました。毎日子どもたちと日々過ごす中で、「あれ？」と思ったこと、「どうしよう」と困っていることがありましたら支援室までご連絡ください。一緒に考えていきましょう！

※県立の特別支援学校にはPT、心理職も所属しており、相談をお願いすることができます。

PT（理学療法士）

- 姿勢保持や運動の特徴についての実態把握
- 身体の特徴や変化への助言
- 医療ケアなどが必要な児童生徒へのかかわり方への助言
- 補装具（車いす、補装靴、体幹装具等）の使用についての助言、及び外部機関（病院等）との連携

心理職

問題行動(例：こだわりが強すぎて他の児童生徒が困ってしまう)に対する**対応の仕方**や、**学習環境の整え方**(例：視覚的な手がかりを有効に使う)、**情緒や対人関係の学びへの支援**や、**社会性を養うための支援**を一緒に考えていきます。

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷支援学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつづき～ 「言葉にならない言葉」

新年度が始まって1ヶ月余り。

「新年度」の理解ができる我々と違い、子どもたちの中には、休みが終わって登校したら教室の場所も友だちも、そしていつも一緒にいた先生も変わってしまい、わけが分からず不安だらけ…という状況にある子ども、少なからずいると思います。

たとえば、ある日突然、出勤したら自分の席も周りの職員集団も変わっていた、という状況を思い浮かべてみると、子どもたちの戸惑いがわかるのではないかと思います。

(転勤直後は理由がわかっているのに、その職場の「お作法」がわからず、ストレスがたまるのも似ていますね)

今までできていたことが、できなくても

今までではなかったことが、起こっても

それが**子どもたちの言葉にならない言葉**だとすれば、まずは、その**戸惑いを受け止めること**から始めるのが、新学期の我々の仕事なのかもしれません。

だから、今はあせらず、もう少し長い目で見てあげましょう。

気疲れするのは大人も子どもも同じ。いずれ時間が解決してくれることを信じて、ゆっくりと進んでいきましょう。

(教育支援チーム)